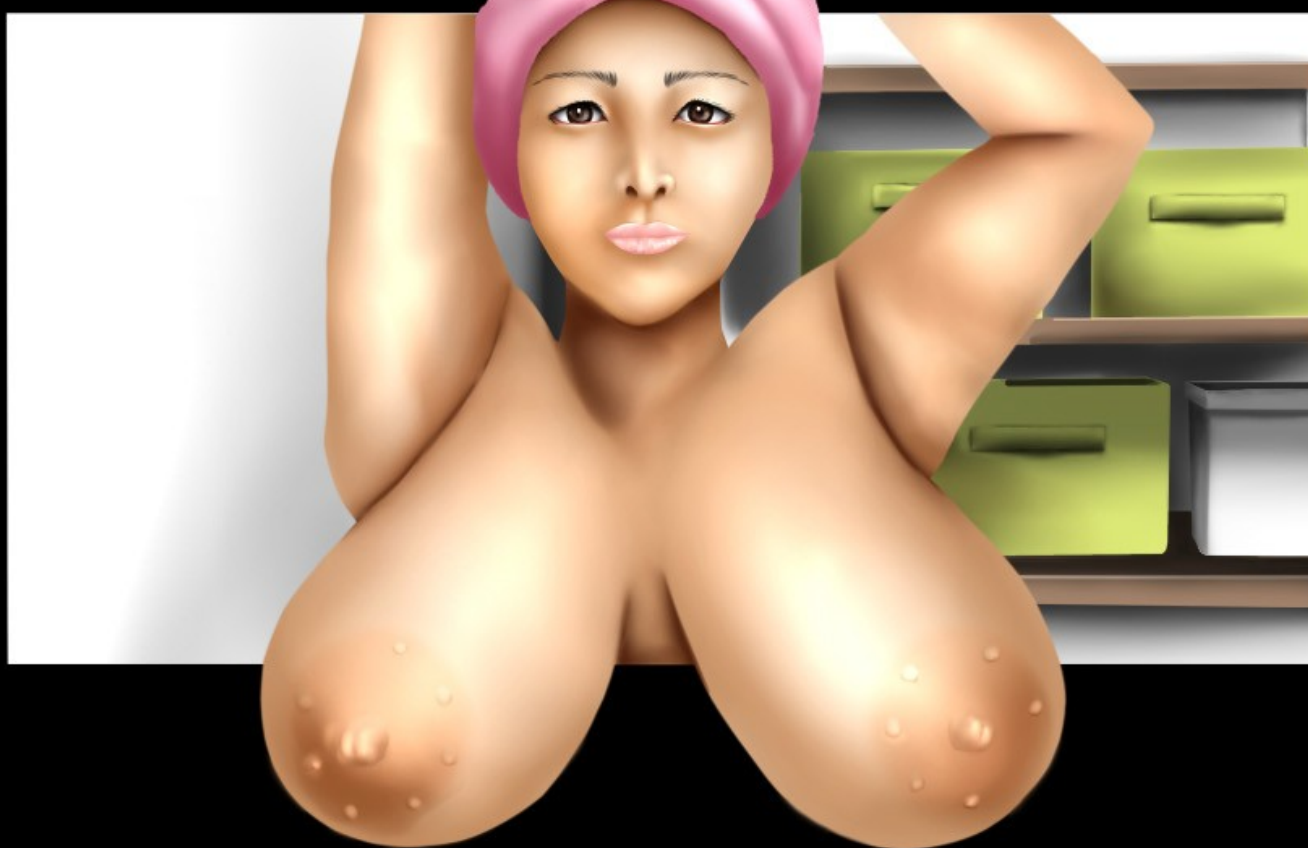


はは
ぶ
ら
裸舞母









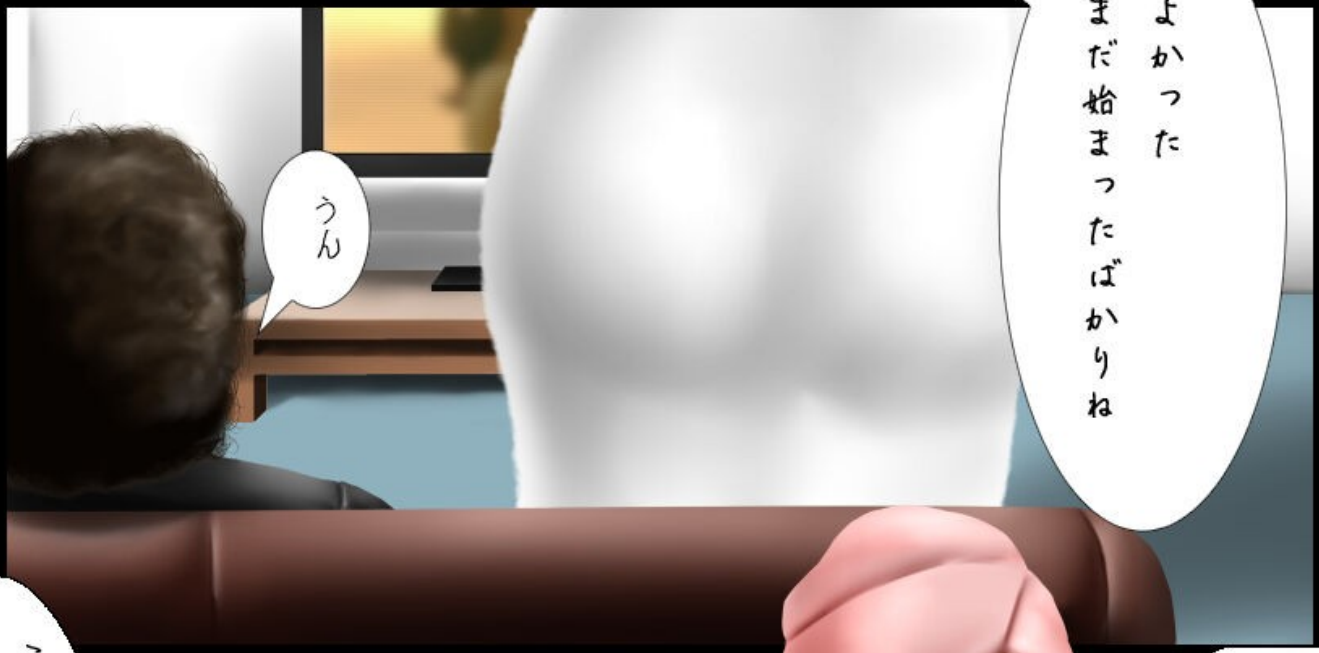
優斗お
母さん、シャワー
終わったよ



このドラマが
終わったら行くよ。



優斗もシャワー
行って来たなら？



よかった
まだ始まったばかりね

うん

そう言うと母さんは
タオルを巻いただけの姿で
僕の隣に腰を下ろした。

何気なく母さんを見てみると
そこには大きく柔らかそうな
2つの乳みがタオルに包まれて
並んでいた。

この二人ってうまく
いかないわよね

僕は、母さんの
胸に釘付けに
なっていた。





僕は、近親相姦ものの
エロ動画にハマっている。
最近では自分の母もしかしたら
やれるんじゃないかと
考える時間が増えていた。



どうしたの？



いついや
何でもない



そんな僕がこの母の姿を見て
我慢できるはずもなく
意を決して行動に出た。



ゴ

えっ!!
ちよつと優斗
何してるの?!

ぐい

バガニ

アハハ

毛むく

あつ..
ゆっ優斗..

：ママさん





母さん…
母さんのおっぱい
柔らかくてあったかいね。

もうどうしたの？
急におっぱいなんて
触りだして

そんなに
大きくなったのに
甘えなくなったの？



いいでしょ？
母さん。

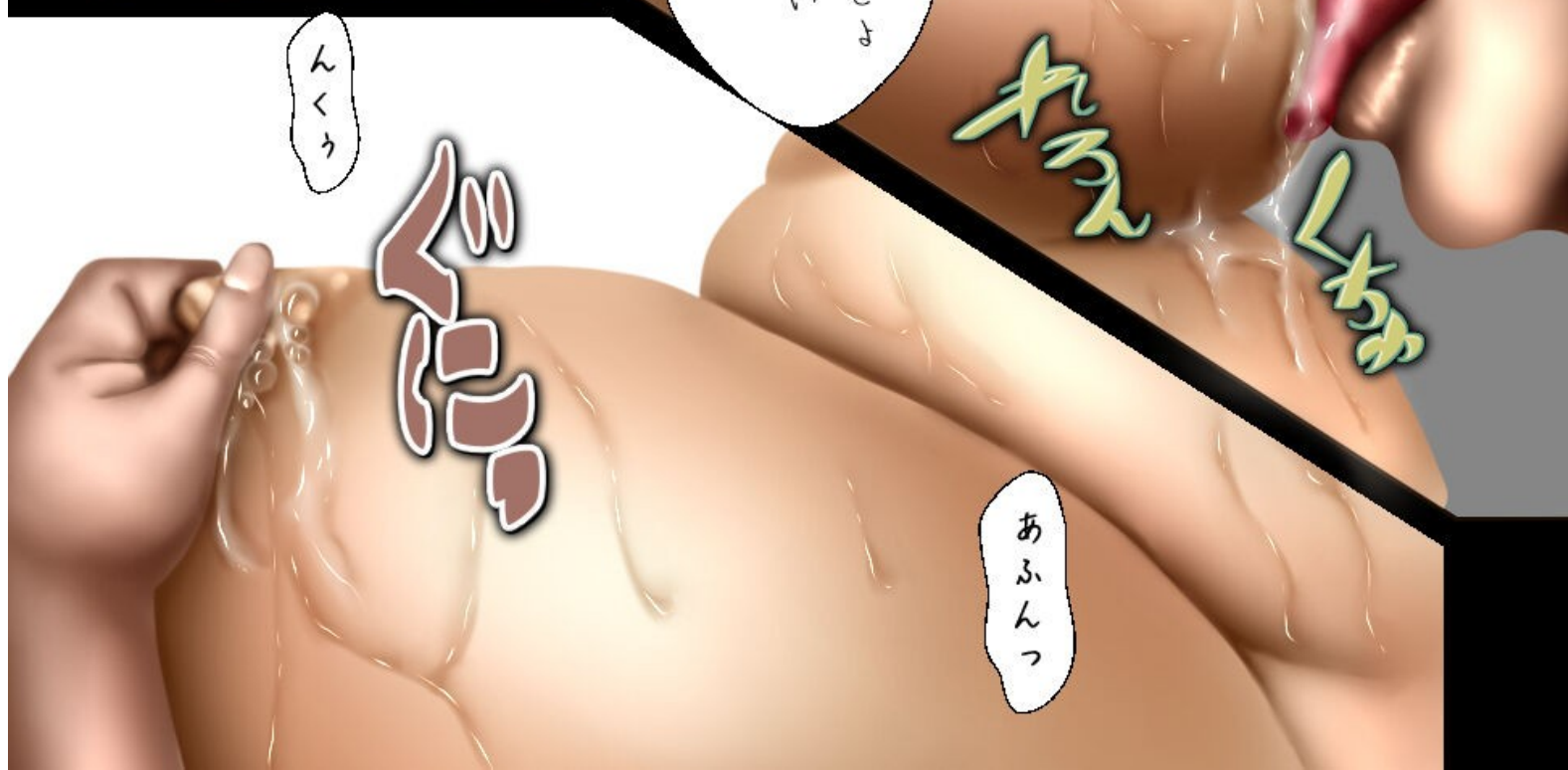
んっ
しかたないわねえ
甘えん坊なんだから

ロロ

んっ

っん

んっ



あふんっ



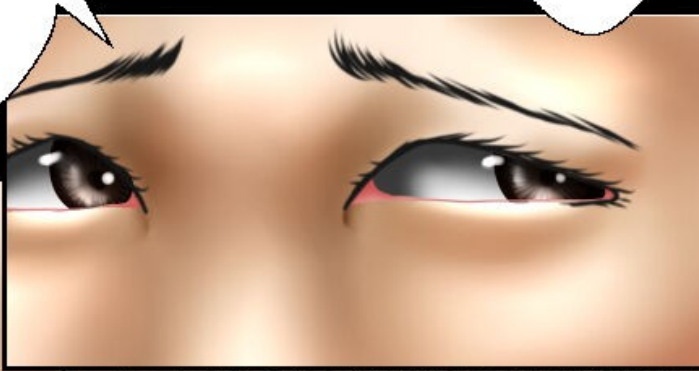
んんあ

ああっ

初めて聞く母さんの
いやらしい声に
興奮し乳首を食り
いよいよおまんこだと
下のほうへ視線を移すと
ソファの元に母さんの
まん汁が溢れ出していた。

母さん：
母さんのおまんこから
汁が溢れているよ。

そんな事
言わなくていいの



母さん、こんなに
濡れているんだから
触っていいよね？

ゆっ優斗もうダメ
そこはダメよ。

嫌だ入れるよ
指入れちゃうよ

だめだめっ
あああっ

ずぶ



あ あ ……ん
ん ン ……あ あ っ
っ ン ふ う あ

あ
あ
っ

ん
あ
あ

ん
あ
あ

ああ：だめ：
優斗っ：
あああっ

あ
あ
っ

んっ

だめっ
だめよ優斗っ

挿れるよ母さん

ぎんぎん

母子でっあっ
だめえっ

あああっ

ニャ

ああっ

バ

んんああっ
だめ...ああっ

下

下

下

ああんっ

ああんっ

ああんっ

ああんっ

ああんっ

んあああっ

んんああう
あっあっ優斗お
ああっっいいいいいい

母さんっ…
…母さんのまんこ
すごく気持ちいいよ!!

んんっもっも
もっも優斗の
おちんぽ
母さんに頂戴っっ

バン

バン

バン

バン

ずず

ずず

ずず





優斗おちんちん抜いて!!
中に出しちゃだめよ

かっ母さん
イきそうッ
俺イきそうだよ

あんっ：

あああッ
だめだめッ
中はだめよッ

あああ
イクッ
イクッ
イクッ!!

とちゅ

とちゅ

とちゅ

とちゅ

とちゅ

びゅ

びゅ

びゅ



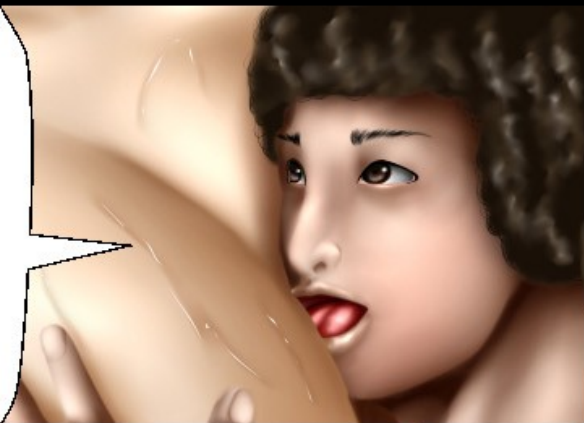


中に出したら
ダメって
言ったでしょ



優斗っ!!

にゅる



だって
母さんの気持ち良くて
腰が止まらなかつたんだよ



ふん

あつちよつと
優斗っ
ああっ...ん

母さん
もう一回いいでしょ
今度はずに出さないから

あ

んんっ

ずぶっ

ずぶっ

ああ
母さんんっ

ずぶっ

ずぶっ

ずぶっ

ずぶっ

ああああんあん
んんあああっ
あっあっああん

あっ
ああ

あ

あ



んんあああああ
いいいいいっつんうあ
んんあああんっ

あああっ

んんうっ

んんん!!
イクよっ
イクよっ!!

ああ優斗おお
いいいいいっ

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん



快感

あああ・・・
んああ優斗の精液
熱いいいっつ・・・

行ってくる

いってらっしゃい
貴方

ああ母さん…
母さんのまんこ最高だよ
もう父さんとセックスしちゃだめだよ
おれとだけするんだ

んっ：そうよ母さんの
おまんこは優斗だけのよ…
母さんも気持ちがいいわ
んっっ優斗おお：

ああっ

ああっ

ああっ

あああ
母さん射すよ
母さんの中に射すよ

にる

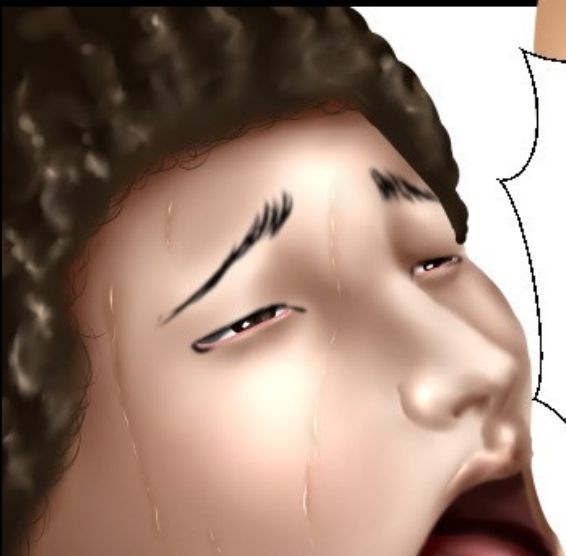
にる

にる

にる

にる

にる



あああ…
熱いわあぁっ
優斗の熱い精液で
母さんのおまんこが
火傷しちゃうわぁ

おまんこが
火傷しちゃうわぁ

おまんこが
火傷しちゃうわぁ